

③0 明るい未来への一歩 報告 市政 プレイパークの拡大を！ 横浜市会議員 市来えみこ

子育て世代の方々から「要性」についてご意見を「最近の公園は規制が多 伺いました。

く、子どもがもつと自由 都筑区は商業施設や整に遊べる場所がほしい」 備された公園に恵まれてとのお声があります。教いる一方、市が支援する育関係者からは、「学校 大人の見守りのもと、子ども家庭でも『良い子』 どもたちが平日に木登りをふるまう生徒が多い、 や泥んこ遊び、焚火、水子どもがのびのびと子ども 遊びなど自然の中で遊べもらしくいられる場の必る場は限られています。



いち き
市来えみこ

横浜市区生まれ(58歳)
青山学院大卒業/カルフォルニア州立大学
大学院言語学部修了/米国パラーガル
家族:娘、両親、愛犬
☎070-9053-1968
✉ichiki.emiko.yokohama@gmail.com
都筑区中川中央1-22-5 #402



視察した他区のプレイパーク

こうした声を受け、私も私たちの笑顔に確信しは議会の局別審査において、「プレイパーク(冒険遊び場)」の拡大を訴えました。屋外で自由に遊ぶことは、体力や運動能力の向上に留まらず、コミュニケーション能力や社会性を育むうえでも非常に重要で、特に自然の中での遊びは、五感を刺激し、子どもたちの創造力や探求心を引き出す貴重な体験となるからです。実際に他区の現場を視察し、学校や塾の前後にプレイパークで遊ぶ子どもたちのために、プレイパークなどによる自然の中での体験活動の機会の充実に取り組んでいたべくよう、引き続き要望してまいります。

横浜の将来を担う子どもたちのために、プレイパークなどによる自然の中での体験活動の機会の充実に取り組んでいたべくよう、引き続き要望してまいります。

AIの時代だからこそ、子どもたちが自ら考え、挑戦し、時に失敗しながら育つ自然環境は、これからの社会においてますます重要になると感じています。

市からは前向きな答弁があり、令和8年度は新規で「出張プレイパーク開催経費補助の創設」やプレイリーダーの拡充を予定しております。